

トカラ列島・中之島の動物資料収集記録

黒江 修 一*

Documentation of Animals on Nakanoshima, Kagoshima Prefecture.

Syuichi KUROE

I はじめに

1995年11月29日（水）から12月2日（土）の4日間にわたり、トカラ列島の中の島で、映像および動物資料の収集と動物生態調査を行う機会を得た。中之島の動物相についてはこれまで、爬虫類や両生類等の動物分布に関して永井（1957）、森田（1989）らの調査報告がある。今回筆者は、甲殻類・昆虫類・貝類等を収集し、また哺乳類・鳥類・爬虫類等の生息状況についていくつかの知見を得たので報告する。

II 中之島の概要

トカラ列島は、鹿児島港から南へ204kmの口之島を起点に、中之島、諏訪之瀬島、悪石島、小宝島、宝島、横当島等の島々と、その西側に並ぶ臥蛇島、平島から構成されている。

中之島は、面積27,54km²のトカラ列島中最大の島である。この島は、火山岩類を基盤に2つの火山が接合して出来たと言われる。島の北半分を占める御岳（979m）の山頂は今もお硫黄の噴気をただよわせている。また御岳と南部の山地との間には、標高220～250mの広い牧草が広がる高層湿原があり、ここにトカラウマが飼育されている。海岸のほとんどは急峻な海食崖となっているが、東海岸の一部に砂浜が見られる。気候は温暖で、島のあちこちにはピロウ群落が、また集落付近にはガジュマル、アコウなどの亜熱帯性の樹木が見られ、温泉も湧出している。

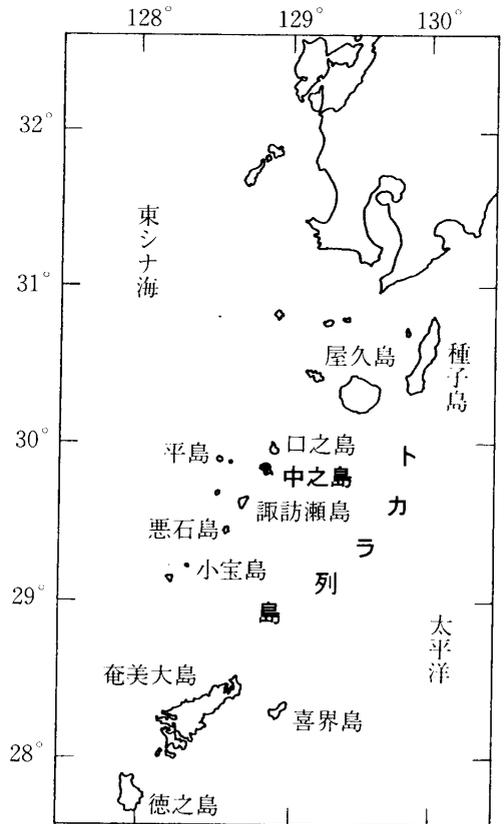


図1 鹿児島県本土とトカラ列島

*〒892：鹿児島市城山町1-1 鹿児島県立博物館

Ⅲ 調査方法及び調査結果

脊椎動物

採集や目撃により確認した個体を中心に記載するが、未調査・未確認の種については島の住民から聞き込みにより得られた情報をもとに記載する。

哺乳類

トカラウマ *Equus caballus L.var.orientalis* Noack

在来種に比べて体高が108～122cmと小型の種である。1953年に鹿児島県の天然記念物に指定された。中之島中央部の台地、高尾の村営牧場に現在9頭が飼育されている。

トカラヤギ *Capra hircus hircus* Linne

体高50cm弱の小型の種で、雌には褐色斑が見られる。船倉の集落で数頭が飼育されている。高尾の村営牧場付近の樹林内でも半放牧状態のトカラヤギ2頭を目撃した。

エラブオオコウモリ *Pteropus dasymallus dasymallus* TEMMINCK

住民の話によると、夜間鳴き声が聞こえるとか本種の他に小型のコウモリもいるということであったが、確認は出来なかった。

爬虫類

ミナミヤモリ *Gekko hokouensis* Pope

廃屋等を中心に探したが生体は採集出来なかったものの、船倉集落の民家で、窓にはさまれた成体の死骸を収集した。

両生類

リュウキュウカジカガエル *Rhacophorus japonicus* (HALLOWELL)

高尾の草原で1個体を目撃した。おそらく冬眠直前の個体であろうと思われる。

魚類

ウナギ *Anguilla japonica Temminck et Schlegel*

高尾北東部の貯水池で1個体を目撃し、映像資料として収集した。貯水池につながる小川を遡上したとも考えられる。

鳥類

調査は底無沼から高尾を経て船倉までのコースをゆっくり歩きながら行い、半径50mの範囲に出現した鳥類の種類を記録した。観察・確認は肉眼あるいは双眼鏡（8倍）で行った。また、センサスルート外で観察した鳥もあわせて記録した。

ウ科	ウミウ	<i>Phalacrocorax filamentosus</i> (Temminck & Schlegel)
サギ科	コサギ	<i>Egretta garzetta</i> (Linnaeus)
	アオサギ	<i>Ardea cinerea</i> Linnaeus
ガンカモ科	オシドリ	<i>Aix galericulata</i> (Linnaeus)
	マガモ	<i>Anas platyrhynchos</i> Linnaeus
	カルガモ	<i>Anas poecilorhyncha</i> Forster
	ヒドリガモ	<i>Anas penelope</i> Linnaeus
ワシタカ科	ミサゴ	<i>Pandion haliaetus</i> (Linnaeus)
	トビ	<i>Milvus migrans</i> (Boddaert)
	ノスリ	<i>Buteo buteo</i> (Linnaeus)
	ハイタカ	<i>Accipiter nisus</i> (Linnaeus)
ハヤブサ科	チョウゲンボウ	<i>Falco tinnunculus</i> Linnaeus
セキレイ科	ハクセキレイ	<i>Motacilla alba</i> Linnaeus
	キセキレイ	<i>Motacilla cinerea</i> Tunstall
ヒヨドリ科	ヒヨドリ	<i>Hypsipetes amaurotis</i> (Temminck)
	タヒバリ	<i>Anthus spinoletta</i> (Linnaeus)
モズ科	モズ	<i>Lanius bucephalus</i> Temminck & Schlegel
ヒタキ科	ジョウビタキ	<i>Phoenicurus auroreus</i> (Pallas)
	イソヒヨドリ	<i>Monticola solitarius</i> (Linnaeus)
	シロハラ	<i>Turdus pallidus</i> Gmelin
	ウグイス	<i>Cettia diphone</i> (Kittlitz)
	セッカ	<i>Cisticola juncidis</i> (Rafinesque)
メジロ科	メジロ	<i>Zosterops japonica</i> Temminck & Schlegel
アトリ科	カワラヒワ	<i>Carduelis sinica</i> (Linnaeus)
カラス科	ハシブトガラス	<i>Corvus macrorhynchos</i> Wagler

無脊椎動物

節足動物 (甲殻類)

十脚目

サワガニ科

サワガニ *Geothelphusa dehaani* (White, 1847) 1, XI-29; 6♂, 2♀, XII-1; 4, XII-2

南部の先割岳の麓で1個体、中之島の西海岸船倉に注ぐ宮川の支流で8個体、東海岸に注ぐ大川下流で4個体採集した。背面及び歩脚の色は採集した個体すべてが濃い紫色であった。

イワガニ科

ミナミイワガニ *Grapsus albolineatus* Lamarck, 1818 1♂, 2♀ XII-2

イワガニ <i>Pachygrapsus crassipes</i> Randall, 1840	1♂, XII-2
ケフサヒライソモドキ <i>Ptychognathus barbatus</i> (A. Milne Edwards, 1873)	2♂, XII-2
ハマガニ <i>Chasmagnathus convexus</i> De Haan, 1833	はさみ脚, XII-2
ヒメアカイソモドキ <i>Acmaeopleura depressa</i> Sakai, 1965	1♂, XII-2

(昆虫類)

チョウ目

シロチョウ科 Pieridae

キチョウ <i>Eurema becabe</i> Linnaeus	2, XI-29
ムラサキツバメ <i>Narathura bazalus</i> Butler	1, XI-29

シジミチョウ科 Lycaenidae

ヤマトシジミ <i>Zizeeria maha okinawana</i> Matsumura	2, XI-29	1, XI-30
ウラナミシジミ <i>Lampides boeticus</i> Linnaeus		1, XI-30

マダラチョウ科 Danaidae

アサギマダラ <i>Parantica sita</i> Kollar	1♂, XI-29
リュウキュウアサギマダラ <i>Radena similis</i> Linnaeus	1♂, 1♀, XI-29

タテハチョウ科 Nymphalidae

アカタテハ <i>Vanessa indica</i> Herbst	1, XI-29
ルリタテハ沖繩亜種 <i>Kaniska canace ishima</i> Fruhstorfer	1, XI-29
アオタテハモドキ <i>Junonia orithya orithya</i> Linnaeus	1♂, XII-1

カメムシ目

セミ科 Cicadidae

クマゼミ <i>Cryptotympana facialis</i> (Walker)	羽化殻 2, XI-29
---	--------------

バッタ目

バッタ科 Acrididae

トノサマバッタ <i>Locusta migratoria</i> Linnaeus	1, XI-29; 1, XI-30; 1, XII-1
ショウリョウバッタ <i>Acrida cinerea</i> Thunberg	3, 幼虫 1, XII-1
マダラバッタ <i>Aiolopus tamulus</i> Fabricius	2, XI-29; 1, XII-1

キリギリス科 Tettigoniidae

ホシササキリ <i>Conocephalus maculatus</i> Le Guillou	1♀, XI-29; 1♀, XII-1
---	----------------------

イナゴ科 Catantopidae

ツチイナゴ <i>Patanga japonica</i> Bolivar	1, XII-1
ハネナガイナゴ <i>Oxya japonica</i> Thunberg	3, XI-29; 1, XI-30; 2, XII-1

ハナアブ科 Syrphidae

オオハナアブ *Phytomia zonata* Fabricius

1, XI-30

軟体動物 (貝類)

原始腹足目

アマオブネガイ科 Neritidae

キバアマガイ *Ritena plicata* (Linnaeus, 1758)

3, XII-2

アマオブネ *Nerita albicilla* (Linnaeus)

6, XII-2

中腹足目

カワニナ科 Pleuroceridae

カワニナ *Semisulcospira libertina* (Gould, 1859)

15, XII-2

オニノツノガイ科 Cerithiidae

トウガタカニモリ *Rhinoclavis sinensis* (Gmelin, 1791)

2, XII-2

サメダカラ科 Staphyloeninae

ハナピラダカラ *Monetaria annulus* (Linnaeus, 1758)

3, XII-2

アオリガイ科

カイシアオリ *Isognomon pernan* (Linnaeus)

2, XII-2

新腹足目

アクキガイ科 Muricoidea

ウネレイシガイダマン *Cronia margaritcola* (Broderip, 1833)

3, XII-2

イモガイ科 Conidae

マダライモ *Virroconus ebraeus* (Linnaeus, 1758)

1, XII-2

柄眼目

ナンバンマイマイ科 Camaenidae

タネガシママイマイ *Satsuma tanegashimae* (Pilsbry, 1901)

5, XI-30

フネガイ目

フネガイ科 Arcoida

カリガネエガイ *Barbatia virescens* (Reeve, 1844)

1, XI-30

IV おわりに

今回の調査では、広範囲にわたる動物の資料収集を試みた。さらに、御岳頂上付近の地質・植生及び噴火口の様子を、また高尾牧場ではトカラウマの生息状況等をビデオカメラで撮影記録した。おかげで、中之島の自然に関する貴重な映像資料を収集することが出来た。また、住民からの聞き込み調査により動物に関する生息情報もいくつか得た。しかし、中之島における動物の生息状況を明らかにしていくためには、今後も多方面からの継続調査が必要であろうと思われる。

最後に、節足動物甲殻類の同定を快く引き受けていただいた鹿児島大学水産学部の鈴木廣志助教授、並びに昆虫・貝の同定でお世話になった江平憲治、前畑登理の両氏に心からお礼を申しあげる。

参 考 文 献

- | | | |
|-----------------|--------------|----------------------------|
| (1)森田 忠義 (1991) | トカラ列島の動物相 | トカラ列島学術調査書：PP169-171 |
| (2)福田 晴夫 (1991) | トカラ列島の昆虫類 | トカラ列島学術調査書：PP179-184 |
| (3)森田 忠義 (1994) | トカラ列島の哺乳類 | WWFネイチャーシリーズ①吐噶喇列島：PP18-21 |
| (4)当山 昌直 (1994) | トカラ列島の両生・爬虫類 | WWFネイチャーシリーズ①吐噶喇列島：PP26-29 |

中之島の動物



ハナビラダカラ



サワガニ



タネガシマイマイ



オオムカデ



トカラヤギ



トカラウマ